

# あ申

ひのえとる

## 新斗おめでとうごばんます

本年は、何時になく静かな新春を迎えることが出来ました。本年が年明けの気候のように平和な年であれとお祈りいたします。

常楽寺も、檀徒の皆さんに支えられて、加藍の整備や、境内の美化、そして、参道の拡幅にと、長年にわたって取り組み、東国「花の寺」の一ヶ寺として、大勢の皆さんをお迎えできる寺となって来ました。

昨年、群馬県の写真広報誌として企画されて、毎月発行されている「グラフィックマ」の九月号に、見開きの二ページを使って、常楽寺のヒガンバナが見

事な絵と文で紹介されました。

「スケッチ散歩」と題し

て県内の、月々に尋ねたい名

所や、景勝地を、画家の（小賀坂みさきさん）のスケッチで、美しく紹介するものです。

紹介文では『朝、夕の涼風に何となく季節の移るいを感じる秋の彼岸、田んぼのあぜ道や土手で見られるヒガンバナの赤色がひときわ目を引く。

太田市上田島町の常楽寺は四季折々の花々が咲く「東国花の寺」の一つ。境内にある赤や白のヒガンバナは、しっかりとした庭園にひとときの華麗な彩りをもたります。

ヒガンバナは別名「曼珠沙華」。同寺では区画整理に伴い、住職らが参道や庭園内に移植し、年々株



分けなどを続け本数を増やしてきた。妖艶でかわいい赤い花や、その中に交じって愛らしい白い花が顔をのぞかせ、庭園の中心にある古代はす池や、参道の周辺は、花で真っ赤に染まる圧巻。訪れる参拝客や観光客の目をたのしませる。』

と、見事な文で紹介して下さりました。

この頃、常楽寺には「うすさま明王」と「ごんごん」の仏像が祀られていて「うすさま明王」は、良く知っておられると思います。「うすさま明王」のお守り札をお出して「ごんごん」は、「ごんごん」が。お守り札を出している寺は関東地域でも、大変数少ないそうです。

この、仏さまは、私たちの周囲にある不浄なもの、汚らわしいものを、浄化して下さる仏さま。「ごんごん」の仏さま「ごんごん」が。お守り札をお出

健康の第一は、何より「快食・快眠・快便」に、日々を送れることです。いつでも、食べ物が気持ちよく食べられること、また、一方で、食べたものが、何時でも気持ちよく排便できることです。これが健康の証明でしょう。気持ちよく排便できること、お便所を清浄な場所として、加護して下さる「ごんごん」さま明王さま「ごんごん」の利益のことです。

この頃、「インターネット」を知ったのですが「ごんごん」常楽寺さんには、「うすさま明王様」のお守り札があること聞いたのですが、お守り札を、お譲り下さる。「ごんごん」を尋ねて来られる人が増えて来ました。

時には、「ごんごん」近所の方々から頼まれたのか、「お守り札を、十枚下さい。」「十五枚下さい。」と頼めて求め「ごんごん」が。お守り札をお出